



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング  
 コード番号 6638 URL <http://ir.mimaki.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

平成29年2月9日  
 上場取引所 東

(氏名) 池田 和明  
 (氏名) 三宅 洋

TEL 0268-80-0058

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	35,125	△2.3	1,595	△36.4	1,382	△35.8	796	△28.8
28年3月期第3四半期	35,945	3.2	2,506	△26.3	2,153	△29.0	1,119	△45.0

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 989百万円 (48.1%) 28年3月期第3四半期 668百万円 (△74.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	26.29	—
28年3月期第3四半期	35.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	50,918	15,789	31.0
28年3月期	46,132	15,642	33.9

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 15,789百万円 28年3月期 15,642百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,350	1.1	1,850	△42.1	1,500	△45.6	900	△44.8	29.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	32,040,000 株	28年3月期	32,040,000 株
29年3月期3Q	1,899,790 株	28年3月期	859,790 株
29年3月期3Q	30,311,308 株	28年3月期3Q	31,351,570 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済につきまして、11月に大統領選挙が行われた米国では、労働市場の回復を背景に景況は緩やかに拡大いたしました。英国のEU離脱が決定した欧州も、大きな混乱はなく景況は底堅く推移いたしました。しかしながら、東アジアや中東・欧州における地政学的リスクは治まる気配がなく、引き続き不安定な状況が続いております。国内につきましても、12月以降はトランプ相場と呼ばれる円安株高局面となったものの、その持続性は不透明な状況にあります。

そのような中、当社グループは中長期的なデジタル化の進展で、高い潜在力が見込めるテキスタイル・アパレル(以下、TA)市場の取り組みに向けて注力いたしました。具体的には、平成28年10月19日付「当社子会社による伊ラ・メカニカ社の株式取得(子会社化)の完了及び同社の商号変更等に関するお知らせ」にて公表のとおり、イタリアの開発製造子会社(Mimaki La Meccanica S.p.A)を取得したことが挙げられます。これによりTA市場向け高速機種が製品ラインナップに加わり、当社グループはTA市場をフルカバーできる製品力を確保することができました。これは、世界中で定期的に行われるTAの展示会で当社グループの存在感が格段に増すことを意味し、ビジネスチャンスの拡大につながるものであります。また、インダストリアルプロダクツ(以下、IP)市場の拡大にも取り組んでおります。平成28年8月31日付「新たな価値を創造するフラットベッドUV-LED方式インクジェットプリンタUJF-3042Mk II、UJF-6042Mk IIの販売開始に関するお知らせ」にて公表のとおり、これまで当社が製品開発し市場を創造してまいりました小型フラットベッドタイプのUVインクジェットプリンタにおいて、生産スピード、美しさ、アプリケーション対応力をさらに進化させた新型モデルを、平成28年10月より販売開始しております。

それらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は351億25百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益は15億95百万円(同36.4%減)、経常利益は13億82百万円(同35.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億96百万円(同28.8%減)となりました。

なお、当第3四半期における主要な為替レート(平成28年4月～平成28年12月の平均レート)は、1米ドル=106.67円(前年同期121.70円)、1ユーロ=118.08円(前年同期134.37円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントの利益につきましては、セグメント間取引消去の影響により四半期連結損益計算書の営業利益から乖離してしまうため、記載を省略しております。

(日本・アジア・オセアニア)

日本・アジア・オセアニアにおける売上高は159億54百万円(前年同期比1.0%減)となりました。中国の売上高が前年同期を下回ったため、全体で減収となりました。

(北・中南米)

北・中南米における売上高は76億86百万円(同3.5%減)となりました。円貨ベースの売上高は前年同期を下回りましたが、現地通貨(ドル等)ベースの売上高は前年同期を上回っております。

(欧州・中東・アフリカ)

欧州・中東・アフリカにおける売上高は114億84百万円(同3.3%減)となりました。円貨ベースの売上高は前年同期を下回りましたが、現地通貨(ユーロ)ベースの売上高は前年同期を上回っております。

当第3四半期連結累計期間における市場別の売上高は、以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前年同期増減率(%)
S G 市場 向け	15,451,672	44.0	△12.5
I P 市場 向け	11,753,351	33.5	8.1
T A 市場 向け	4,076,469	11.6	5.3
そ の 他	3,843,698	10.9	8.1
合 計	35,125,191	100.0	△2.3

また、当第3四半期連結累計期間における品目別の売上高は、以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前年同期増減率(%)
製 品 本 体	17,552,573	50.0	△6.7
イ ン ク	11,728,307	33.4	0.0
そ の 他	5,844,311	16.6	8.2
合 計	35,125,191	100.0	△2.3

**(SG市場向け)**

エントリーモデルの主力製品におきましては、競争激化に加え、円高の進行により円換算の売上高が大きく目減りいたしました。その一方で、平成28年4月に発売開始した新製品のLED-UV硬化インクジェットプリンタは、先進国を中心に販売台数が拡大いたしました。

それらの結果、売上高は154億51百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

**(IP市場向け)**

フラットベッドタイプの大型モデルが主力製品に成長して、販売台数が増加いたしました。さらに、平成27年11月に発売した製品がプリント精度において市場で高い評価を受けており、販売台数が増加いたしました。

それらの結果、円高の進行にもかかわらず売上高は117億53百万円（同8.1%増）と増収になりました。

**(TA市場向け)**

平成27年7月に発売したエントリーモデルが、主力機種に成長いたしました。また、平成28年2月に発売開始した新製品の大型昇華転写プリンタも売上増加に貢献いたしました。

それらの結果、円高の進行にもかかわらず売上高は40億76百万円（同5.3%増）と増収になりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日の決算短信で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において MIMAKI EURASIA DIJITAL BASKI TEKNOLOJILERI VE TICARET LIMITED SIRKETI を新たに設立し、また当第3四半期連結会計期間において La Meccanica Costruzione Tessili-S.P.A（現：Mimaki La Meccanica S.p.A）の株式を取得し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,034,884	12,787,799
受取手形及び売掛金	7,888,065	7,619,542
商品及び製品	10,895,330	11,223,552
仕掛品	266,208	328,987
原材料及び貯蔵品	3,306,227	4,063,243
繰延税金資産	833,948	553,682
その他	1,578,485	2,217,963
貸倒引当金	△122,553	△206,812
流動資産合計	35,680,596	38,587,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,982,856	3,740,944
土地	2,876,214	2,876,214
その他(純額)	2,113,499	2,622,812
有形固定資産合計	8,972,570	9,239,970
無形固定資産		
のれん	-	995,761
その他	392,891	540,846
無形固定資産合計	392,891	1,536,608
投資その他の資産		
繰延税金資産	246,337	231,570
その他	962,182	1,484,390
貸倒引当金	△121,697	△161,787
投資その他の資産合計	1,086,822	1,554,174
固定資産合計	10,452,284	12,330,753
資産合計	46,132,881	50,918,712
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,867,713	4,463,222
短期借入金	6,469,851	7,292,496
1年内返済予定の長期借入金	2,757,416	2,678,764
未払法人税等	106,116	123,680
賞与引当金	700,491	365,498
役員賞与引当金	43,678	21,812
製品保証引当金	414,740	455,480
その他	3,766,647	9,074,290
流動負債合計	21,126,656	24,475,245
固定負債		
長期借入金	8,721,797	9,870,550
リース債務	136,177	172,164
繰延税金負債	6,628	6,901
退職給付に係る負債	311,532	466,200
資産除去債務	52,685	52,920
その他	134,868	85,364
固定負債合計	9,363,689	10,654,101
負債合計	30,490,345	35,129,347

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,357,456	4,357,456
資本剰余金	4,269,686	4,269,686
利益剰余金	7,803,163	8,293,501
自己株式	△201,831	△737,694
株主資本合計	16,228,475	16,182,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△981	7,049
為替換算調整勘定	△605,640	△414,586
退職給付に係る調整累計額	20,683	13,952
その他の包括利益累計額合計	△585,939	△393,584
純資産合計	15,642,535	15,789,364
負債純資産合計	46,132,881	50,918,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	35,945,875	35,125,191
売上原価	19,073,390	19,384,765
売上総利益	16,872,485	15,740,425
販売費及び一般管理費	14,365,728	14,144,941
営業利益	2,506,757	1,595,484
営業外収益		
受取利息	19,742	40,191
受取配当金	804	750
受取保険金	9,599	16,447
保険返戻金	22,002	14,862
貸倒引当金戻入額	13,654	-
その他	41,538	39,361
営業外収益合計	107,340	111,612
営業外費用		
支払利息	87,725	107,650
売上割引	80,464	83,386
為替差損	157,791	105,219
持分法による投資損失	107,909	7,023
その他	26,483	21,494
営業外費用合計	460,373	324,775
経常利益	2,153,724	1,382,321
特別利益		
固定資産売却益	10,112	20,995
新株予約権戻入益	212	-
特別利益合計	10,325	20,995
特別損失		
固定資産売却損	747	1,564
特別損失合計	747	1,564
税金等調整前四半期純利益	2,163,301	1,401,753
法人税、住民税及び事業税	412,864	308,100
法人税等調整額	631,339	296,712
法人税等合計	1,044,204	604,813
四半期純利益	1,119,096	796,939
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,119,096	796,939



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,119,096	796,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,163	8,031
為替換算調整勘定	△462,351	173,480
持分法適用会社に対する持分相当額	23,120	17,573
退職給付に係る調整額	△9,629	△6,730
その他の包括利益合計	△451,024	192,355
四半期包括利益	668,072	989,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	668,072	989,294

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月10日開催の取締役会決議に基づく自己株式820,000株の取得、また平成28年6月10日開催の取締役会決議に基づく自己株式220,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が535,863千円増加し、当第3四半期連結会計期間期末において自己株式が737,694千円となっております。